

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 中村宗雄

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成でした。特に、「外国人が日本で生活して良かった」と考える意見や、逆にそう思わない意見などは非常に新鮮で参考になった。
また、外国人と日本人のコミュニケーションを阻害していることは、間違いなく日本語である事、また外国人の子どもたちの高校進学を阻んでいるものは、「手書き」と「漢字」である事と、「やさしい日本語」の必要性に気付いた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・行政として、多言語化の対応だけでなく、職員に対する「やさしい日本語」の習得のための研修が必要である。
- ・外国人と日本人の文化の違いを正確に知る必要があり、「お互いが我慢する」でなく、「お互いが理解する(相互理解)」の推進が多文化共生に必要不可欠である。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

「半田市に外国人が増えることは問題である」と考える事が問題であり、この地域の経済と活力の維持には、この事をチャンスととらえるべきだと感じた。

	議長	管理委員長
確認欄		



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容	金額(円)	領収書
9/20		勉強会 講師謝金	25,000円	①
			合計 25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり 代表者 2,784円 他7名 2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 中村宗雄

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

カトラン 収江



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 竹内功治

- 使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入
- タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。

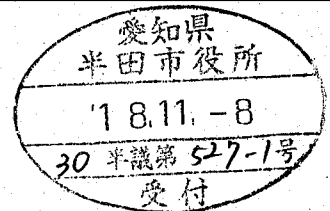
- ・外国人から見た日本の生活の良い面、悪い面を知ることができた。特に手書きや漢字の記入など、外国人にとって日本語の難しいところを理解できた。
- ・定住している外国人は、「聞く72%、話す64%、読む52%、書く44%」など、日本語をある程度は理解している。
- ・外国人にとって従来からの日本語の理解は時間が掛かるが、防災や観光情報で活用される「やさしい日本語」は短時間で理解ができる。
- ・外国人中心の町内形成に問題は無いが、行政や自治区など、日本人のサポートで言語や孤立化などの対応が重要になる。
- ・外国人住民のためではなく、外国人観光のために予算を使う場合が多いのではないか。

以上のことなど、多文化共生の基礎知識を学ぶことができた。よって目的を達成できた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・申請書などの書類について、手書きだけでなく、電子化した対応を考えること。
- ・外国人と接する機会の多い行政、自治区、学校関係者等は、「丁寧に、短く、意図をちゃんと話す」などに気を付けて、積極的に日本語で対応することを考えること。
- ・「やさしい日本語」を防災や観光情報等だけでなく、生活情報においても取り入れて活用すること。
- ・行政や自治区などがアプローチやコミュニケーションの充実を図り、外国人がそれを受け入れることができる体制づくりを心掛けていくこと。
- ・予算について、外国人観光だけでなく、定住外国人のための施策について、今まで以上の予算配分を考えること。

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

- ・日本語を十分に理解していない現状では、高校、その後の大学進学は、厳しい状況になる。

確認欄	議長	管理委員長

申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 竹内功治

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

カトク 祖又江



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成 30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 小出義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

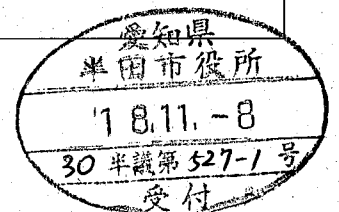
- ・在住外国人の大半は、日本語を理解できる。ゴミ出しのパンフレットなどの多言語化が進んでいるが、難しい表現を見直す“やさしい日本語”を使い工夫が必要。
- ・高校入試には2000字の漢字を使える語学力が求められている。外国人の子ども達にとって、大きな壁となっている。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・パンフレットなどの案内の作成時日は、在住外国人の立場に立ちやさしい日本語を使うなどの工夫が必要。
- ・在住外国人の声も行政に反映できるよう、自治区加入の促進が必要

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時 間	内 容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 小出義一

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

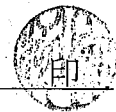
但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

小出 義一



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 澤田勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

在住外国人と地域住民との共生を図ることについての講演を聞き、目的は達成できた。愛知県に住む外国人の74%が日本語をだいたい聞くことができ、66%が日本語をだいたい話すことが出来るデータがある。在住外国人の方へ日本での生活情報(ゴミ出し方法や防災啓発など)を伝えることは、複数の言語でパンフレット作製するよりも、「やさしい日本語」やイラストを使ったパンフレット等を活用することが有効である。

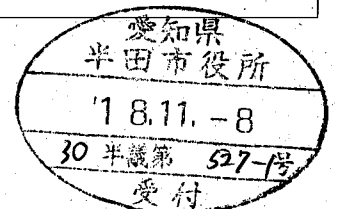
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

在住外国人との情報提供はやし方は、それぞれの国の言語で行うことも良いが、「やさしい日本語」の活用をキーワードに情報提供等を行うべきである。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

(Empty box for additional remarks)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 澤田勝

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

カトラン 祖又江



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 山田清一

- 使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入
- タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

達成できた。

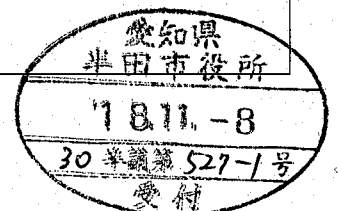
- ・現在、そして今後も日本社会は外国人なしでは成り立たなくなることを認識した。
- ・多言語すべてに対して対応することは不可能。そのため容易な外国人にとって理解しやすい「やさしい日本語」を共通言語としていくことが大切であることを知った。
- ・たとえ日本語を理解しても書けない外国人の子どもは、高校進学が困難である現状を認識した。完璧な日本語を書くことが求められるため、進学できない子どもがいることは深刻である。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・市民に対し多文化共生の理念を意識啓発していく。そのうえで多文化共生のまちづくりを進めること。
- ・市民に対し「やさしい日本語」を広く普及啓発し、共通言語として推進していく。そのための研修会の実施。
- ・高校進学につながるように、外国人生徒に対し日本語教師による日本語教育の推進。
- ・外国人生徒への対応について、具体的な事例をもとにした教職員に対する研修会の実施。
- ・国際経験が豊富で外国語が話せ、地域でリーダーとなりうる人材の発掘。(外国人・日本人とも)
- ・多文化共生推進のため、外国人職員の採用。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時 間	内 容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 山田清一

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

カマエ 祖父江



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 加藤美幸

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要があるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

「外国人として市民権を得るためには」カーティス祖父江(日本福祉大助教)講演から、日本は安心安全な国であるが、外国人にとって最大の壁は日本語で、会話はできても漢字が解らず高校受験が難しい現状や、日本語による手書きの書類が書けないなど、外国人が将来の夢を抱くことをあきらめなければならないのが現実と知りました。このことは、半田市でも同じですが、具体的な課題や対策が講じられぬまま時間の経過とともに問題を膨らませていることは、正しくないと考えさせられました。

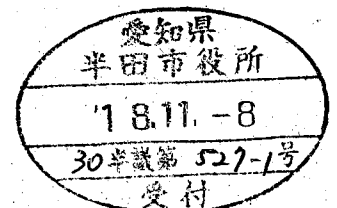
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

次の総合計画策定にむけ、多文化共生や国際化への対応を真剣に論じるべきと考えます。わずかな滞在時間の外国人観光客にお金を使うより、その街に定住し税金を納めている外国人に対して、もっと配慮をと、外国人講師の本音を聞きました。外国人に選挙権はなくても市民として意見を述べまちづくりに参画してもらうことは、多文化共生への必要な施策と考えられます。審議会などに外国人の委員を登用するなど多様で柔軟な視点を求める改善が必要です。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Empty box for additional remarks.

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会 講師謝金		25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 加藤美幸

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

加藤 祖江



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 石川英之

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要がため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

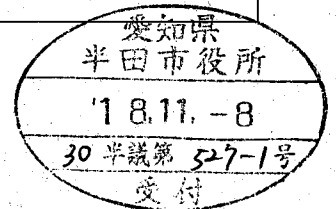
達成出来たと思う。結果として外国人の思いと、日本人側の思いの違いがよくわかったから。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

これからは「やさしい日本語」で、短く丁寧に最後まで。をキーワードに進めていく事を心がけるべきである。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会 講師謝金		25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 石川英之

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

石川英之



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)

平成30年11月8日

政務活動費成果届出書

届出者 久世孝宏

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

半田市の国際化への対応について

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

これからの半田市は、従来の在住外国人だけではなく、半田市内の企業で働くために市内に居住する外国人の急激な増加が見込まれ、現在でも半田市内における在住外国人数は過去最高を更新している。こうした環境の中で、年々増加傾向にある在住外国人に対しての支援や、日本人の地域住民との共生をいかに図るか(多文化共生)について基礎知識を学び、今後の行政、企業、自治区等のあるべき姿を学ぶ必要がるため。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

以下の知識を得た。

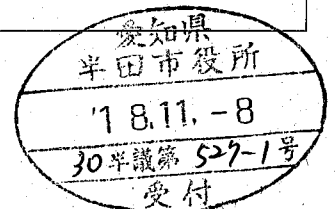
- ・ 住み暮らす外国人にとって、言葉の壁、特に書くことに対する壁は大きい。
(聞く、話すは住み暮らす外国人の7割が概ねできると回答している。)
- ・ 住み暮らす外国人に対しては、「やさしい日本語」を共通言語とする。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・ 住み暮らす外国人、ならびに、半田市民に「やさしい日本語」の習得をさせる。
- ・ 企業を含む市民に対する、意識啓発の実施。
住み暮らす外国人の7割は、聞く・話すことはできる、という認識のもと、地域で当たり前のように共存する意識を醸成する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
9/20		勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を9人で按分	一人あたり		
			代表者	2,784円	
			他7名	2,777円	

平成30年11月8日

領収書等貼付用紙

議員名 久世孝宏

タイトル

半田市の国際化への対応について

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、9月20日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

平成30年9月20日

半田市議会議員

代表 中村宗雄 他 8名 様

カズム 祖父江、



研修会の講師謝金の原本は中村宗雄議員に添付して、同席者9名で按分する。

82,100円 ÷ 8人 = 2,777円 (7名)

2,784円 (中村)